

どうどの“今”をお届けします

まちのわだい

12/7
SUN

体験を通して防災知識を修得 末守区防災訓練



▲地震体験



▲VR災害体験



▲防災バッグの説明



▲情報伝達訓練

末守区において防災訓練が開催され、子どもから大人まで合わせておよそ130名が参加しました。地震体験車の体験コーナーやVR災害体験、町防災士会による防災バッグの説明、ごうどアマチュア無線防災クラブによる情報伝達訓練などが行われ、参加者は様々な体験を通して防災に関する知識を身に着けることができました。山田富美雄区長は「区の皆さんに楽しみながら防災について学んでもらうことができてよかったです。今回の訓練が今後、防災について考える際の何かヒントになれば嬉しいです」と話されました。

12/4
THU

カードゲームで遊びながら防災学習



下宮小学校6年生の児童が、避難所生活におけるリスクや命の守り方について学ぶことができるカードゲーム「ひなんじょサバイバル」を使った授業を受けました。

「ひなんじょサバイバル」の開発者で防災士の資格を持つ藤井嵩将さんを講師に、避難所にどんな資材があるか、その資材はどんな時に役立てることができるか、ゲームを楽しみながら学びました。

参加した児童は「ラップが包帯の代わりに使えることに驚きました。またカードを使って学びたい」と話していました。

11/21
FRI

中北薬品(株)と協定を締結



町は中北薬品株式会社と「災害時や感染症がまん延時における医薬品・物資等の供給等に関する協定締結式」を締結しました。

この協定により、災害が発生した際や感染症がまん延し、中長期的な避難所運営が必要となった際、同社から必要な日用消耗品や医薬品の提供を受けることができます。

締結式にて中北薬品株式会社岐阜大垣支店松波千治支店長は「自社の強みを活かして様々な面でお力になれればと思います」と話されました。

更新中！
ぜひ
ご覧ください



Facebook



Instagram

11
25~26
TUE WED

町内4幼稚園 防火教室開催



4幼稚園で防火教室が開催されました。北部消防署と町消防団の協力のもと、園児らは消防車両の見学や火災を題材にしたDVDの鑑賞を行い、火の正しい扱い方や火事が起きた時の逃げ方を学びました。

12
2
TUE

西南濃老連 軽スポーツ大会で優勝



「ごうどバラクラブ」(町老連所属のクロッケーチーム)の皆さんと町老連の久野会長が、藤井町長に大会の結果報告をされました。

-大会成績-

西南濃老人クラブ連合会軽スポーツ大会	優勝
飛水クラブぎふ軽スポーツ西濃地区大会	3位

-大会に出場された皆さん-

林 賢治さん(末守区)	五十川晃司さん(丈六道区)
清水 忍さん(西保区)	高橋 勝次さん(横井区)
渡邊 敏さん(井田区)	渡邊 護さん(南方区)

11
20
THU

命の尊さ・大切さを学ぶ 「いのちの授業」



▲下宮小学校

町内4小学校で、命の尊さや大切さを学ぶ「いのちの授業」が行われました。児童らは保健師と助産師を講師に、赤ちゃん人形を抱っこして新生児の重さを体感したり、赤ちゃんが生まれたときのお父さんお母さんの気持ちを考えるグループワークを行いました。

11
28
FRI

仲間と作り上げた 美しいハーモニー



神戸中学校で合唱祭が開催されました。

「共奏～こころを一つに～」をスローガンに生徒らは学年合唱、クラス合唱、それぞれにおいて日々の練習の成果を発揮しました。

生徒会長の池田裕哉さん、副会長の山川颯大さんは「インフルエンザによる学級閉鎖など、様々な困難を乗り越え、各クラスが最高の合唱を作り上げてくれた。合唱を通して得た学びを今後の学校生活に活かしていきたい」と話していました。

まちのわだい

11
30
SUN

社会福祉大会 フレイル予防講演会



町社会福祉大会において、東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝也機関長（フレイル研究の第一人者）による講演会が開催されました。

「人生100年時代 フレイル予防でいきいき元気」と題し、健康寿命の延伸における3つの柱（栄養・運動・社会参加）の重要性や、科学的根拠に基づいた正しいフレイル予防の取り組み方などについて話されました。

12
7
SUN

機械の仕組みに興味津々 ラジオ作り教室



岐阜県電波適正利用推進員協議会が主催する「ラジオ作り教室」が町立図書館にて開催され、町内の小学生6名とその保護者が参加しました。

電波について動画で学んだ後、推進員の指導のもと、部品の取り付けや視聴テストを行い、AM/FMラジオを完成させました。

参加者は「自分で作ったラジオで放送を聞くことができて嬉しかった」と話していました。

12
16
TUE

日本の伝統芸能 「狂言」に触れる



文化庁主催の学校巡回公演が神戸小学校において行われ、4年生から6年生の児童が日本の伝統芸能「狂言」を鑑賞しました。

国語の教科書に掲載されたことのある「附子」や笑って楽しめる物語「仏師」などの演目が披露されました。

また、本公演の前には、6年生の児童を対象に、狂言に関する講義や基本動作の体験会が行われ、伝統芸能の歴史や奥深さについて学びました。

12
11
THU

安心・安全・栄養満点 手作りおやつ教室



保健センターにおいて、1歳から就学前のお子さんを持つ保護者を対象に「手作りおやつ教室」を行いました。

食生活改善協議会と保健センターの栄養士が講師となり、実際に調理しながら、手作りおやつのメリットや自分で作る際の注意点などについて説明を行いました。